

## 【YAWATA 150】

－ふるさと八幡小学校です－

令和5年7月3日（月）

今回は、学校の一番最初、のスタートとなった「仮義校」に関して……

昨年、八幡小学校の一番はじめの学校名は「仮義校」という名前でした……  
という話をしました。2年から6年のみなさん、覚えていますか？

ところで「仮義校」ってどういう意味なのでしょう？

江戸時代、武士の子どもは「藩校」で、その他の子どもは「寺子屋」で学んでいました。（希望者のみ）

それが、明治になり、明治政府の指示により、学校制度が見直され、愛知県と岐阜県には、「義校」と呼ばれる簡易初等教育の学校ができました。そのほとんどが、民間の有志によって設立され、明治7年以降、徐々に公立の小学校となりました。

名古屋では、明治5年以降に、たくさんの義校が設立されました。30校あまりが記録に残っています。

すると、「自分の住んでいる所にも、義校を見習って学校を作りたい…」と各地に義校に準ずる学校がつくられるようになりました。それが「仮義校」です。もちろん、仮義校も民間の有志によって設立され、そして、義校も仮義校も希望者のみが通学し、勉強していました。

八幡小の前身である「仮義校」も、そのようにして地域の方々の協力できた学校だったと考えられます。明治6年2月に「仮義校」としてスタートし、そのすぐ後、明治6年10月には「第二中学区第三十二番小学生立学校」という名前に変わります。名前に「義校」とはついていませんが、実際には「義校」同様に正式な学校となったことを意味していると思われます。

「仮義校」の意味、なんとなく分かってもらえたかな？

ところで、当時の「仮義校」は、今、八幡小がある所にはありませんでした。では、どこにあったと思いますか？

実は、学校の西にある願興寺さんの敷地にあったそうです。これも、地域の方々の協力で学校ができたことを証明していますね。